

ICTで授業をDX!

学年 小学校5年 教科 特別の教科道徳 など

ムーブノートで心のものさしが一目瞭然!

使用するアプリケーション等
・Forms
・ミライシード
(ムーブノート)

単元・題材 誠実な生き方・手品師

本時の目標 夢と約束との間で揺れ動く手品師の心情についての話合いを通して、誠実な行動とは何かについて考え、自分の良心に誠実で、明るい心で生活しようとする態度を育てる。

ICTを活用することでできること

- ・Formsのアンケート機能を活用することで、クラスの実態をリアルタイムに提示することができ、道徳的価値について自分事としてとらえることができる。リアルタイムに把握できることで、本時のねらいとする道徳的価値についてより一層関心を深めさせられる。
- ・中心発問では、ムーブノートを活用することで、児童の考えを視覚化し、クラスの考えの傾向を把握することができる。そこから教師による意図的指名によって問題解決へ向けた児童同士の対話を促すことができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①クラスの実態を把握するために、本時を行う前に事前にアンケート、集計を実施する。
- ②アンケートの集計結果を提示し、本時の道徳的価値について自分事としてとらえさせる。

2 展開

- ①教材について知る。
 - 教材の登場人物・条件・状況を知る。
 - 教材の読み聞かせを聞く。
- ②教材を読んで話し合う。
 - 手品師の心情について考える。
 - 約束を守って男の子のところへ行くのか、夢のために大劇場に行くのか、心のものさしで自分の立場を表す。
- ③誠実とは何かについて話し合う。

3 まとめ

- ①本時を振り返って、誠実な生き方について、これからの自分の生き方をノートに書く。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ①Formsを使い、その場でアンケートをとり集計する。
- ②アンケート結果を見せ、誠実についての課題意識をもたせる。



その場でアンケートをとり、即時集計することで、より新鮮なアンケート結果をクラスで共有することができる。

2 展開

- ①教材について知る。
 - 教材の登場人物・条件・状況を知る。
 - 教材の読み聞かせを聞く。
- ②教材を読んで話し合う。
 - 手品師の心情について話し合う。
 - 約束を守って男の子のところへ行くのか、夢のために大劇場に行くのかを、**ムーブノートを使った心のものさし**で表す。



ムーブノートを使ったことで、クラスの他の人の考えがどうなっているのかが一目瞭然。また、話合いを通す中で自分や友だちの心情がどう移ったのかを表すことができた。

- ③ どちらの考えにも共通する大切にしているものについて考える。
 - どちらも相手と自分の心を大切にしていることに大切にしていることを知る。

3 まとめ

- ①本時を振り返って、誠実な生き方について、これからの自分の生き方をノートに書く。

授業者から (成果・課題・留意点)

- これまでは、クラスのアンケートの集計と結果を提示するにはタイムラグが生じていた。しかし、Formsを活用したことで、リアルタイムに提示することができ、クラスの実態をより新鮮で、より興味をもって把握することができていた。
- ムーブノートの心のものさしでは、クラスの考えがどのようになっているのかを簡単に提示することができた。また意図的指名も容易であり、教師側がねらいとする授業の流れに進ませることができた。
- △パソコンの操作に不慣れな児童がいると、思ったより時間がかかってしまい、タイムマネジメントについては今後の課題だった。